

三浦半島・南下浦（東京湾口）産ヤドカリ類

池田 等・倉持卓司

Hitoshi Ikeda and Takashi Kuramochi: Hermit Crabs Collected around Minami-shitaura (Mouth of Tokyo Bay), Coast of Miura Peninsula, Kanagawa Prefecture

はじめに

日本周辺海域に生息する異尾類（軟甲綱十脚目異尾下目）は、三宅(1991)により332種が報告され、このうちツノガイヤドカリ科・ヤドカリ科・オカヤドカリ科・オキヤドカリ科・ホンヤドカリ科の5科には128種が含まれている。相模湾からは昭和天皇の御採集標本に基づきツノガイヤドカリ科・ヤドカリ科・オキヤドカリ科・ホンヤドカリ科の4科60種が報告されている(三宅, 1978)。

筆者らは東京湾口三浦市南下浦周辺海域において1963年以降継続して生物相の調査をおこなっており、本稿では異尾類のヤドカリ科およびホンヤドカリ科について報告する。

本報告に当たり、試料採集にご協力いただいた椎名泰之氏、渡辺政美氏および南下浦周辺の漁業関係者に感謝申し上げます。

調査方法

1963年4月から2002年10月までの期間に、東京湾口南下浦周辺海域(図.1)において漁業者がシロギス(水深5-20m)、イセエビ(水深5-20m)、クルマエビ(水深10-30m)、イボダイ(水深20-50m)、マコガレイ(水深30-80m)、タチウオ(水深30-120m)、ヒラメ(水深30-200m)、アカザエビ(水深200-250m)などを漁獲対象として、水深5-250mにおいて行った底質環境の異なる底刺網および、潮間帯における採集、打ち上げ採集により得られた資料をもとに種の同定を行い、目録を作成した。

なお、採集された標本の一部は、葉山しおさい博物館(標本番号HSM-Cra)に保管されている。

結果および考察

本調査により、ヤドカリ科・ホンヤドカリ科の7属21種が調査海域より採集された。これらの種は、これまでに相模湾より報告された60種(三宅, 1978)のおよそ32%にあたり、すべて相模湾から報告された種と共通する。これまでに本調査海域にあたる東京湾口・浦

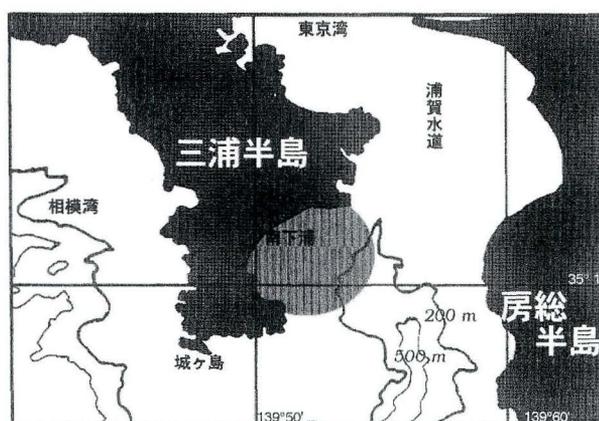


図1. 調査海域 (●).

賀水道に特定したヤドカリ類相に関する報告はないが、朝倉(1984)によって報告された三浦半島の潮間帯のヤドカリ類中、調査海域近隣の野比・観音崎からはケブカヒメヨコバサミ *Paguristes ortmanni* Miyake, ホンヤドカリ *Pagurus filholi* (de Man), ケアシホンヤドカリ *Pagurus lanuginosus* de Man, イソヨコバサミ *Clibanarius virescens* (Krauss) の4種がある。萩原・山崎(1996)、萩原・島村(1999)野中・萩原(2001)は、横浜港および金沢湾からコブヨコバサミ *Clibanarius infraspinus* Hilgendorf, ケブカヒメヨコバサミ, ホンヤドカリ, ケアシホンヤドカリ, トゲツノヤドカリ *Diogenes edward* (De Haan), イガグリホンヤドカリ *Pagurus constans* (Stimpson) の6種を報告し、コブヨコバサミ以外の種は、本調査海域の出現種と重複する。また、これまでに三浦半島沿岸の河口域や東京湾湾奥部の干潟から報告(朝倉, 1984; 田村, 1999 など)されているユビナガホンヤドカリ *Pagurus dubius* (Ortmann) も本海域からは採集されなかった。コブヨコバサミ, ユビナガホンヤドカリの2種は、河川河口部や干潟などに生息する種であり、本調査海域には、流入する発達した河川がみられないことが要因であると考えられる。

筆者らが、ほぼ同時期より行っている三浦半島相模湾沿岸域でのヤドカリ類相の同一種の出現頻度に比

べ, トゲツノヤドカリ, イガグリホンヤドカリが本海域では, 多くみられた。このことは, 両海域の底質を主体とした環境の差による影響と考えられる。また, 村田ほか(1991)が房総半島から報告した熱帯・亜熱帯に多く生息するサンゴヤドカリ属 *Calcinus* が本海域から全く採集されないことや, ホンドオニヤドカリ *Aniculus miyakei* Forest などが三浦半島相模湾岸に比べ出現数の少ないことから, 池田・倉持(1999)が報告した, 同海域のカニ類相と同様に本調査海域のヤドカリ類相が黒潮の影響を直接受けず, 東京湾からの内湾水の影響のある海域に準じた種の構成を示していると考えられる。

文献

朝倉 彰, 1984. 三浦半島潮間帯のヤドカリ類. 横須賀市立博物館館報, **31**: 14-19.
Asakura A, 2001. A revision of the hermit crabs of the genera *Catapagurus* A. Milne-Edwards and *Hemipagurus* Smith from

the Indo-West Pacific (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae). *Invertebrate Taxonomy*, **15**: 823-891.
朝倉 彰, 2001. ヤドカリ類の系統をめぐる近年の話題の展開. 月刊海洋 号外, **26**: 21-31.
萩原清司・山崎孝英, 1996. 横浜市沿岸域の底生動物相. 横浜の川と海の生物. (第7報・海域編): 149-184.
萩原清司・島村嘉一, 1999. 横浜市沿岸域の底生動物相. 横浜の川と海の生物. (第8報・海域編): 59-90.
池田 等・倉持卓司, 1999. 三浦半島・南下浦沖(東京湾口)産カニ類. 神奈川自然誌資料, (20): 85-88.
三宅貞詳, 1978. 相模湾産甲殻異尾類. 英文pp. 200, 和文 pp. 161. 保育社, 大阪.
三宅貞詳, 1991. 原色日本大型甲殻類図鑑(I) (第2刷). 261pp. 保育社, 大阪.
村田憲要・渡邊精一・朝倉 彰, 1991. 房総半島のサンゴヤドカリ類 (Crustacea: Anomura: Diogenidae). 千葉中央博物館自然誌研究報告, **1**(1): 21-23.
野中圭介・萩原清司, 2001. 横浜市沿岸域の底生動物相. 横浜の川と海の生物. (第8報・海域編): 69-104.
田村俊一, 1999. 逗子市田越川で採集されたチチュウカイミドリガニ. 神奈川自然誌資料, (20): 81-84.

南下浦産ヤドカリ類目録

凡例: ヤドカリ類の分類体系については, 近年, 朝倉(2001)などによりレビューが行われているのが, 今回の分類体系および学名は, 三宅(1991)におおむね従った。

HSM-Cra と示した標本は, 葉山しおさい博物館甲殻異尾類資料登録番号。

軟甲綱 Class Malacostraca

十脚目 Order Decapoda

異尾下目 Infraorder Anomura

ヤドカリ上科 Superfamily Coenobitoidea

ヤドカリ科 Family Diogenidae

1. ホンドオニヤドカリ *Aniculus miyakei* Forest ; イセエビ底刺網
2. トゲツノヤドカリ *Diogenes edward* (De Haan); 1972.5 クルマエビ底刺網 HSM-Cra-0044; 1993. クルマエビ底刺網 HSM-Cra-0093; 2002.6 イボダイ底刺網 HSM-Cra-0136,
備考: ヤドカリコテイソギンチャク *Pycnantbus paguri* が左鋏脚に着生
3. トゲトゲツノヤドカリ *Diogenes spinifrons* (De Haan); 1993.5 クルマエビ底刺網 HSM-Cra-0090; 2002.7 打ち上げ HSM-Cra-0137; 2002.9 イボダイ底刺網 HSM-Cra-0138
4. テナガツノヤドカリ *Diogenes nitidimanus* Terao ; シロギス底刺網
5. イソコバサミ *Clibanarius virescens* (Krauss); 潮間帯 岩礁
6. ケブカヒメヨコバサミ *Paguristes ortmanni* Miyake ; イセエビ底刺網
7. トゲヒメヨコバサミ *Paguristes acanthomerus* Ortmann ; 1995.5 イボダイ底刺網 HSM-Cra-0140; 2002.6 イボダイ底刺網 HSM-Cra-0141
8. ヨコスジヤドカリ *Dardanus arrosor* (Herbst); 1993.6. クルマエビ底刺網 HSM-Cra-0003; 2002.6. クルマエビ底刺網 HSM-Cra-0139,
備考: 宿貝にヤドカリイソギンチャク *Calliactis japonica* が着生
9. ソメンヤドカリ *Dardanus pedunculatus* (Herbst); イセエビ底刺網 備考: 宿貝にベニヒモイソギンチャク *Calliactis polypus* が着生
10. イボアシヤドカリ *Dardanus impressus* (De Haan); 1975.5 クルマエビ底刺網 HSM-Cra-0038; 2002.6 クルマエビ底刺網 HSM-Cra-0142; 2002.6 イボダイ底刺網 HSM-Cra-0143
11. イシダタミヤドカリ *Dardanus crassimanus* (E. M. Edwards); 2002.6 クルマエビ底刺網 HSM-Cra-0145; 2002.6 クルマエビ底刺網 HSM-Cra-0146
12. アカボシヤドカリ *Dardanus aspersus* (Berthold); 1990.5 クルマエビ底刺網 HSM-Cra-0050

ホンヤドカリ上科 Superfamily Pagureidea

ホンヤドカリ科 Family Paguridae

13. イガグリホンヤドカリ *Pagurus constans* (Stimpson); 1970.5 クルマエビ底刺網 HSM-Cra-0039,
備考: イガグリガイウミヒドラ *Hydrissa sodalis* (Stimpson) が殻上に生息
14. ハダカホンヤドカリ *Pagurus gracilipes* (Stimpson); 1994.5 ヒラメ底刺網 HSM-Cra-0096
15. ベニホンヤドカリ *Pagurus similis* (Ortman); 1995.5 イセエビ底刺網 HSM-Cra-0135
2002.6 イボダイ底刺網 HSM-Cra-0148,
備考: ここでは, 上記学名としたが本種は, 生態的に2型(別種?)があり今後は検討を要する。
16. ヤマトホンヤドカリ *Pagurus japonicus* (Stimpson); 潮間帯 岩礁
17. カイメンホンヤドカリ *Pagurus pectinatus* (Stimson); クルマエビ底刺網,
備考: ツミイレカイメン *Suberites ficus* Esper が殻上に生息
18. ホンヤドカリ *Pagurus filholi* (de Man); 2002.7 磯採集 HSM-Cra-0143
19. ケアシホンヤドカリ *Pagurus lanuginosus* de Man ; 2002.7 磯採集 HSM-Cra-0144
20. ヨコヤホンヤドカリ *Pagurus yokoyai* Makarov ; 1995.2 アカザエビ底刺網 HSM-Cra-0134
21. ジンゴロウヤドカリ *Parapagurodes doederleini* (Doflein); 1999.2 アカザエビ底刺網 HSM-Cra-0147,
備考: 従来, 本種の属名は, *Catapagurus* が用いられていたが, 上記学名は, Asakura (2001)による。

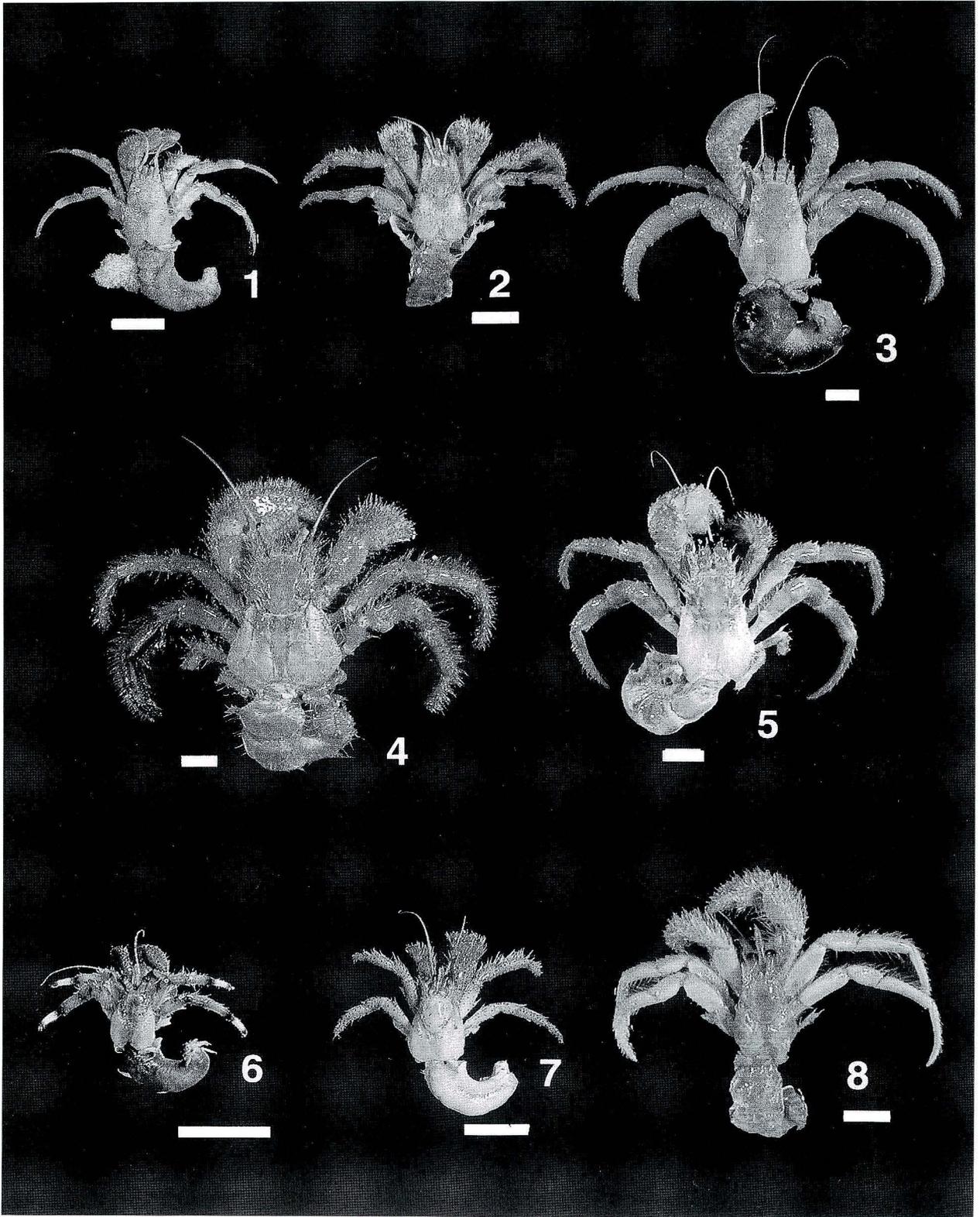


図2. 1. トゲトゲツノヤドカリ *Diogenes spinifrons* (De Haan) HSM-Cra-0138; 2. トゲヒメヨコバサミ *Paguristes acanthomerus* Ortmann HSM-Cra-0141; 3. ヨコスジヤドカリ *Dardanus arrosor* (Herbst) HSM-Cra-0139; 4. イシダタミヤドカリ *Dardanus crassimanus* (E. M. Edwards) HSM-Cra-0146; 5. イボアシヤドカリ *Dardanus impressus* (De Haan) HSM-Cra-0143; 6. ホンヤドカリ *Pagurus filholi* (de Man) HSM-Cra-0143; 7. ケアシホンヤドカリ *Pagurus lanuginosus* de Man HSM-Cra-0144; 8. ヨコヤホンヤドカリ *Pagurus yokoyai* Makarov HSM-Cra-0134.

(池田：葉山しおさい博物館，倉持：葉山しおさい博物館気付)